



令和4年7月28日
第十管区海上保安本部

海域火山監視観測結果について

第十管区海上保安本部は、航空機による管内の主な海域火山の監視観測を実施し、防災のための基礎資料とするほか、火山噴火予知連絡会に情報提供を行っています。

7月27日（水）、当本部鹿児島航空基地所属航空機を使用して海域火山監視観測を実施しましたので、その結果をお知らせします。

1. 観測概要

実施日時：令和4年7月27日（水）午前10時35分から午前11時50分

観測対象：桜島（予定していた、開聞岳、薩摩硫黄島、口永良部島、口之島、中之島、諏訪之瀬島、悪石島、上ノ根島、横当島は天候を勘案し観測中止。）

2. 観測結果

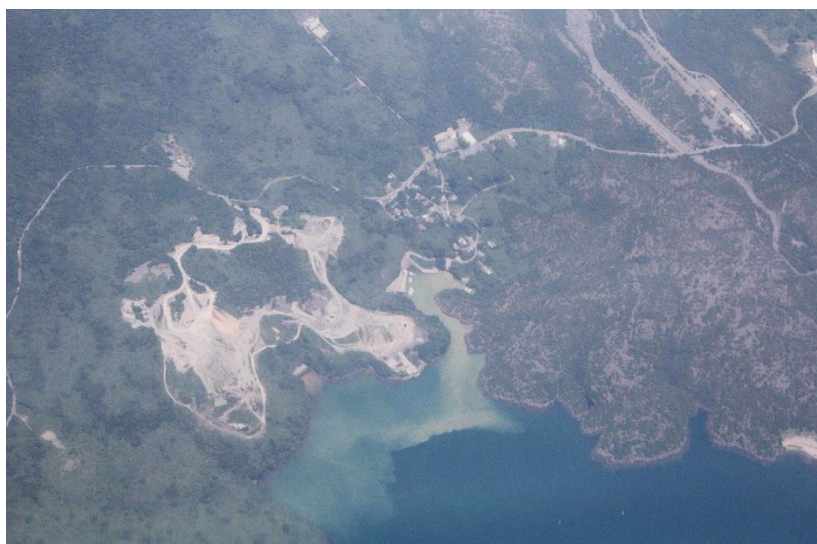
今回の航空機による目視観測では、京都大学防災研究所附属火山活動研究センター 井口 正人 教授・センター長が同乗し、助言を得て観測した。

桜島の状況について下記のとおりお知らせします。

【桜島】（別紙参照）

- ・観測中は、桜島山頂は常に雲及び噴煙で覆われており、火口の目視観測は実施できなかった。
- ・桜島東岸の塩屋ヶ元（しおやがもと）港、及び桜島北岸の松浦港西方沿岸に変色水の分布を認めた。
- ・灰色の噴煙が時々、山頂を覆う雲を突き出る高度（約4,000m）まで達していることを視認した。噴火活動を認めるが通常の活動と大きく変わるものではなかった。

○桜島南東方から桜島東岸、塩屋ヶ元港の変色水を撮影（11時12分頃撮影）



○桜島東方から桜島山頂上空の噴煙(黒色)を撮影。撮影時の飛行高度は約4000m（11時15分頃撮影）



○桜島北方から桜島北岸、松浦港西方沿岸の変色水を撮影。（11時28分頃撮影）



○桜島北西方から桜島全体を撮影（11時29分頃撮影）

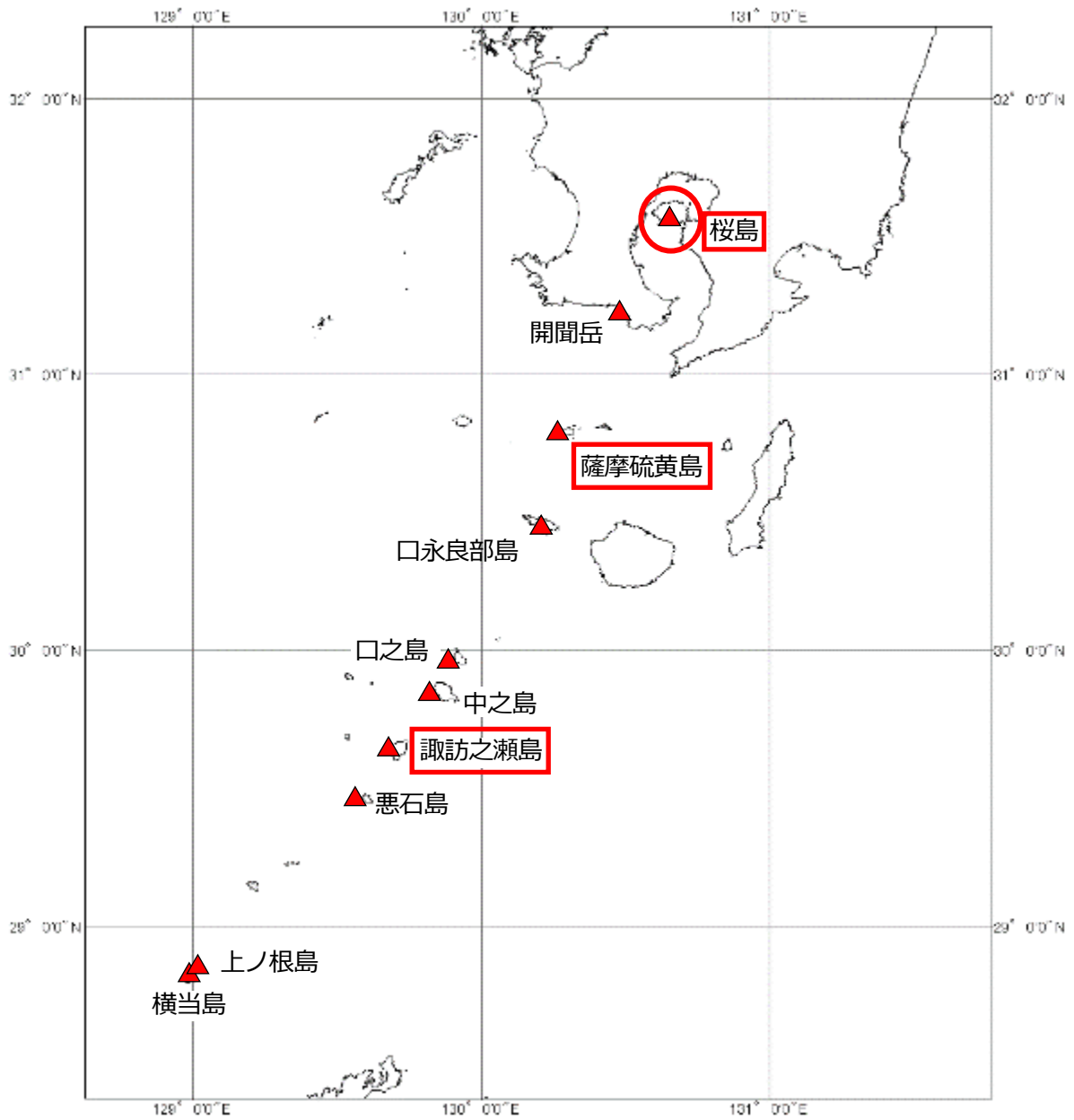


撮影方向



【参考】

今回監視観測した海域火山(○で囲む箇所)



噴火警戒レベル2以上の火山